

3 竜東っ子の学力の根っこづくりを支援する ～学校運営協議会の取組～

竜北東小学校の子どもたちの学力を伸ばすために、学校運営協議会で話し合いました。今年度、起業体験活動を核となる活動として位置付け、学力の根っこ（土台）の課題を四点あげました。

- 一つ目は、生活習慣や学習習慣の定着です。
- 二つ目は、ふるさと氷川をもっと好きになることです。
- 三つ目は、自己有用感を高めることです。
- 四つ目はコミュニケーションの力を高めることです。

この四つを学力の土台となる「根っこ」としてとらえ、この部分を家庭や地域と協力して育てていこうという取組です。具体的には次の二つのことに取り組んできました。一つ目は、昨年度好評だった梨マラソンの応援うちわづくりです。二つ目は、ふるさと氷川学を生かした起業体験の取組です。



4 竜東いきいきカンパニーによる応援うちわの作製

氷川町を元気にする模擬会社「竜東いきいきカンパニー」の6年生に役場の商工観光課から、地元の応援を増やす応援うちわを作製してほしいという依頼がありました。

早速、デザイン部でうちわをデザインして、営業部が各学年にお願いに行きました。残りの片面を夏休みにご家族で、氷川町を盛り上げるアイデアを練り、すてきなうちわの作製をお願いしました。夏休み明けには、子どもたちがそれぞれに一生懸命考え、作った応援うちわを持ち寄りしました。9月23日（祝）の梨マラソン大会では、沿道で応援する皆さんや参加者の皆さんに応援うちわを配り、大会を盛り上げることができました。



5 区長さんとの意見交換 ～子どもの安全・安心を見守る～

子どもたちの安全を守るため、区長さんとPTA役員、学校運営協議会の委員さん、中学校とで意見交換会を開催しました。

- その結果、次の3点について確認し、共同で取り組む事になりました。
- 一、子ども見守り隊と子ども110番の家を各区でも募集していただく。
 - 二、通学路の安全確認を各区で作製した防災マップ等で確認する。（役場から提供いただき地区児童会で確認）
 - 三、各区で実施する防災訓練に小中学生が参加するよう学校からも呼びかける。

区長さんたちからも「子どもは地域の宝」だからしっかり見守る体制をつくるために、区の役員会にかけて相談し、PTAや子供会とも協力していきたいという意見もいただき、本当に心強く思いました。

子ども見守り隊に90人を超える協力をいただき、子どもかけこみ110番の家も50軒近くの登録をいただきました。地域と学校で協力して子どもたちを見守っていきます。



輝く竜東っ子

1 最高の力で協力をして、笑顔の金メダルをとりました

竜北東小学校の子どもたちは、みんなで協力して課題を乗り越える力を持っています。今年度は、前日まで雨で、運動会を開催できなかった心配でしたが、当日は天候にも恵まれ、毎日練習してきた成果をしっかりと発揮してくれました。子どもたちは運動会の準備、係などを自分たちの力でやりとげようと「竜東魂」を発揮し、感動があふれる一日にしてくれました。

すべての競技に全力で取り組み、子どもたち一人一人の元気を集めて、最後まで生き生きとした運動会をご覧に入れることができ、保護者や地域の皆さまの御支援にお応えすることができたと思います。



2 起業体験活動に挑戦

本校は、平成30年度「小・中学校等における起業体験推進事業」実践校として熊本県教育委員会・氷川町教育委員会の指定を受け、起業体験活動の実践に取り組んでいます。

「ふるさとと出会い、チャレンジ精神をもって学び続け、豊かにつながる子どもの育成」をテーマとして、1学期は、体験的な活動を行うことで、ふるさとを見つめ、地域のよさに気づかせていきました。

6月の土曜授業では、今年度町教育委員会で作成された「ふるさと氷川学」を活用し、起業体験活動の一環としてふるさとと出会う活動を行いました。それぞれの分野で果敢にチャレンジされているゲストティーチャーの皆さまの話を聞きました。子どもたちが熱心に、そして生き生きと学ぶ姿がとても素晴らしいと感じました。

